

ケースメソッド授業の評価

川野 司（九州看護福祉大学）

キーワード：大学生、ケース教材、ケースメソッド授業

1. 概要

ケースメソッド授業は、学生が、主体的に学ぶ力を修得するために、関係領域のケース教材を使い、グループ討論とクラス討論を取り入れた討論型授業であり、アクティブラーニングの一つである。ケースメソッド授業は、自ら学び、自ら考え、自ら課題解決の意志決定ができる能力をはじめ、コミュニケーション力やディスカッション力など、様々なスキルを習修することができる。本発表では、学生の活動性を高めるためにケースメソッドについて、授業評価の視点から紹介する。授業評価は4選択肢（あてはまる・ややあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない）の16項目と自由記述3項（プレゼン・グループ討論・グループ討論報告と教員説明の感想・意見）で構成し、4選択肢にそれぞれ4～1点を与えて集計した。

2. 方法

（1）対象は、2014年2学期におけるA大学の教職科目「教育方法論」で、看護学科2年生6名と社会福祉学科2年生43名の計49名であった。

（2）ケースメソッド授業を進めるにあたっては、授業の進め方の説明を第1週に行い、ケース教材を使用するケースメソッド授業を11週分、指導案作成に関わる授業を3週分、計15週分の授業実践を行った。

Table 1 授業の進め方

セッション	授業の流れ	授業内容	配時
	・出席確認	・呼名、配布資料確認、連絡事項	5分
第1	・プレゼン発表	・項	10分
第2	・グループ討論	・ケース教材の設問を中心に発	25分
第3	・各班の討論報告	表、	20分
第4	告	・設問の予習内容の討論	20分
第5	・教員の全体説明	・班の討論内容の報告	10分
	・授業の振り返り	・報告のコメントと補足説明	
		・授業評価アンケートを書く	

グループ討論であった。第3セッションは、各班の討論内容をクラス全体に報告する時間（全体討論）であった。第4セッションは、グループ討論や全体討論について教員コメントと解説であった。第5セッションは、授業を振り返る時間であり、授業評価シートを作成した。振り返りのための授業評価シートは、記載直前にその都度配布した。

3. 結果と考察

Table 2に11週分の授業評価の平均点と標準偏差をまとめた。なお、③～⑤の3項目は、授業テーマの達成目標であり毎週変わったが、①と②及び⑥～⑩は毎週同一項目であった。

Table 2の授業評価シートの項目は、3週目の授業テーマ「学校事故」を使用した。

Table 2 2週～15週の授業評価シートの平均点と標準偏差（SD）

	か① った 今日 の ブレ ゼン は 分 か り や す	た② 今 日 の 授 業 は 、 お も し ろ う か つ	任③ が 分 か か っ た で 問 わ れ る 教 師 の 責	が④ 理 解 で き な い 指 導 体 制 の 大 切 さ	切⑤ 日 頃 か ら の 安 全 注 意 義 務 の 大	あ⑥ っ た 今 日 の 授 業 は 、 や り が い い	せ⑦ ず 分 か ら な い こ と は そ の ま ま に	け⑧ て 理 解 し て な い こ と が あ る が 、 授 業 を 受	が⑨ 友 達 の 意 見 を 聞 い て 、 考 え た 方	ル⑩ 今 日 の グ ル ー プ 全 体 と し て う ま く は 、 グ	た⑪ 私 は グ ル ー プ 討 論 で 発 言 で き	え⑫ を 私 は グ ル ー プ 討 論 で 自 分 の 考	⑬ 今 日 の 授 業 は 、 自 信 が つ い た	教⑭ 師 に な っ て か ら 考 え た こ と は 、	た⑮ 今 日 の 授 業 は 、 や っ て よ か つ	足⑯ で き る も の は 、 全 体 と し て 満
2週平均点	3.22	3.43	3.36	3.26	2.91	3.40	2.50	2.76	3.06	3.17	3.30	3.13	2.74	3.53	3.68	3.30
SD	0.55	0.57	0.56	0.63	0.58	0.67	0.74	1.00	0.73	0.78	0.74	0.82	0.81	0.50	0.51	0.65
3週平均点	3.57	3.45	3.70	3.77	3.80	3.59	3.23	3.61	3.43	3.34	3.50	3.39	3.20	3.73	3.75	3.64
SD	0.54	0.50	0.46	0.47	0.40	0.49	0.76	0.57	0.58	0.67	0.58	0.53	0.62	0.45	0.43	0.48
4週平均点	3.69	3.74	3.77	3.68	3.55	3.70	3.50	3.80	3.60	3.55	3.78	3.58	3.38	3.65	3.73	3.65
SD	0.51	0.44	0.42	0.47	0.55	0.46	0.63	0.40	0.54	0.59	0.42	0.54	0.62	0.53	0.45	0.53
5週平均点	3.38	3.35	3.54	3.41	3.48	3.50	3.40	3.52	3.24	3.33	3.54	3.35	3.09	3.54	3.52	3.37
SD	0.53	0.48	0.50	0.57	0.54	0.54	0.68	0.58	0.67	0.63	0.62	0.67	0.62	0.58	0.58	0.48
6週平均点	3.69	3.42	3.56	3.73	3.31	3.42	3.31	3.56	3.38	3.38	3.60	3.40	3.16	3.69	3.73	3.56
SD	0.46	0.54	0.54	0.44	0.63	0.54	0.63	0.54	0.71	0.80	0.65	0.71	0.67	0.46	0.44	0.50
7週平均点	3.61	3.47	3.64	3.64	3.38	3.55	3.47	3.64	3.55	3.68	3.66	3.55	3.34	3.81	3.74	3.53
SD	0.49	0.54	0.48	0.52	0.57	0.50	0.54	0.48	0.61	0.51	0.52	0.50	0.59	0.39	0.44	0.54
11週平均点	3.27	3.36	3.45	3.43	3.30	3.47	3.47	3.49	3.43	3.43	3.62	3.53	3.13	3.62	3.57	3.37
SD	0.53	0.56	0.71	0.61	0.62	0.58	0.50	0.54	0.74	0.64	0.57	0.54	0.49	0.49	0.54	0.53
12週平均点	3.27	3.36	3.45	3.43	3.30	3.47	3.47	3.49	3.43	3.43	3.62	3.53	3.13	3.62	3.57	3.37
SD	0.53	0.56	0.71	0.61	0.62	0.58	0.50	0.54	0.74	0.64	0.57	0.54	0.49	0.49	0.54	0.53
13週平均点	3.63	3.52	3.50	3.66	3.23	3.45	3.57	3.53	3.45	3.59	3.57	3.61	3.34	3.75	3.61	3.55
SD	0.57	0.54	0.54	0.47	0.70	0.62	0.50	0.54	0.66	0.58	0.54	0.53	0.60	0.48	0.53	0.54
14週平均点	3.41	3.49	3.67	3.46	3.38	3.72	3.54	3.54	3.54	3.62	3.67	3.62	3.21	3.69	3.67	3.38
SD	0.54	0.55	0.57	0.55	0.54	0.45	0.59	0.50	0.55	0.62	0.65	0.58	0.56	0.46	0.47	0.58
15週平均点	3.59	3.51	3.56	3.62	3.58	3.49	3.34	3.40	3.38	3.44	3.60	3.47	3.36	3.62	3.58	3.45
SD	0.49	0.54	0.50	0.53	0.49	0.50	0.56	0.61	0.71	0.54	0.49	0.54	0.56	0.48	0.49	0.50

回答の「あてはまる」と「ややあてはまる」を込みにして肯定的評価、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を否定的評価とした場合、学生は、授業評価項目①～⑩の2週～15週を通して肯定的評価をしていた（Table 2）。ケースメソッド授業は、学生の主体的に学ぶ力と学ぶ意欲を喚起し、学生一人ひとりの活動性を高める能動的学習につながるという肯定的評価を得られたが、課題もいくつか発見できた。グループ討論の司会係とグループ討論を全体報告する係が固定化されたこと、積極的に討論に参加する学生と討論に消極的な学生の姿が見られたこと、ケース教材の内容に関わること、グループ討論中の教員の関わり方などであった。今後の授業実践を通して課題解決を図っていきたい。